



OKAYA

岡谷ロータリークラブ

- 会長／宮坂 伸
- 副会長／林 裕彦・山崎典夫
- 幹事／北村正春
- 会報委員長／白鳥修次

- 事務所／岡谷市中央町 1-4-12 ホテル岡谷 3F
Tel/0266-22-6939・Fax/0266-23-6939・URL:http://okayarc.org・E-mail:okayarc@bz04.plala.or.jp
- 例 会／毎週火曜日 PM12:30 ホテル岡谷

第 2595 回例会 2012 年（平成 24 年）12 月 4 日（火）

- 点 鐘：宮坂 伸 司 会：瀬戸雅三
 斉 唱：君が代・奉仕の理想 唱 和：四つのテスト
 ビジター：小口武男様・増沢洋太郎様（諏訪 RC）
 ゲスト：劉 曉紅さん(米山奨学生) ラッキーNo. : No. 1 宮坂 伸
 皆 勤 祝：梅垣和彦 5 年
 誕 生 祝：尾関秀雄・小松正二・濱 毅
 結 婚 祝：小野 仁・林 裕彦・北澤洋之介



誕生祝

会長挨拶

まずはお客様をご紹介します。諏訪ロータリークラブから IM の PR にお越しいただきました小口武雄会長・IM 実行委員長増沢洋太郎様、そして米山奨学生の劉さん、ようこそいらっしゃいました。いよいよ 12 月となりました。世の中床が抜けたり、天井が落ちたり大変ですが皆様どうぞお気を付け下さい。あるところで、「座右の銘は？」と聞かれ私は、左右の眼かと思ひまして両方 1.5 と答えましたら笑われてしまいました。先日ガールスカウト 50 周年記念式典に伺って、感謝状を頂いて参りましたのでご報告致します。今日は、次年度の役員などを決める総会もありますのでよろしくお願い致します。

幹事報告

- ・ 次週は、チャリティー親睦家族忘年会です。受付開始 17:30～、点鐘 18:00 です。
- ・ 宮坂ガバナー・エレクト国際協議会壮行会が 1/6(日)17:00 よりホテル岡谷で行われます。例会扱いになります。
- ・ 1/4 11:00 岡谷市新年祝賀会に申し込みましたので、関係者はご出席下さい。
- ・ 地区より被災地復興支援の依頼があり、当クラブも協力する事を報告いたします。

委員会報告

ガバナー・エレクト事務所総務委員会 ロータリー国際大会が 2013 年 6 月スペインのリズボンで行われます。参加費も大きいのですが、ガバナーを輩出するクラブとして、お手元の資料をご覧になり、是非とも大勢ご参加ください。

ロータリー財団と米山記念奨学金寄付のご協力についてですが、当クラブの名簿順で「た行」までが米山奨学金へ、「は行」からロータリー財団へご寄付をお願いいたします。

新世代奉仕委員会 ロータリー財団地区補助金を申請し、頂く事が出来ましたので、つつじが丘学園にノーパソコン2台を贈呈する事になりました。7日に宮坂会長と、中畑エレクト・佐藤次年度幹事と、宮坂委員長の4名で行って参ります。

ロータリー情報広報委員会

- 「ロータリーの友」12月号 家族月間「新たな風を」—家族とともに—
- 12頁 -最終段階にさしかかったポリオ-是非お読みください。

【IM PR】

諏訪 RC 会長 小口 武雄様
IM 実行委員長 増沢洋太郎様

2/17(日)ホテル紅やに於きまして、IMインターシティーミーティングが開催されます。
・会員セミナー・講演「子供達に明るい未来を」-いじめゼロに向けて-・パネルディスカッション・懇親会という流れで行います。寒い頃ですが、全員登録ですので大勢のご参加をお願いいたします。当日は、一般公開も致します。

理事・役員指名委員会 小野仁委員長

指名委員会より 2014-2015 年度会長に宮澤由己会員を推薦し、承認されました。

年次総会

中畑隆一 次年度会長

2013-2014 年度(第 54 期)理事・役員構成案の提案が出され、承認されました。

挨拶



宮澤由己 2013-2014 年度会長エレクト

この度は、自分なりに覚悟は決めておりましたが、「来る時が来た」という心境です。皆様のお力をお借りしなくては、何も出来ません。何とぞよろしく、お願い申し上げます。

2012-2013 年度(第 53 期) 役員・理事構成

△ ◎ 会長	中畑隆一	△ ◎ 会場監督(SAA)	林 靖高
△ ◎ 直前会長	宮坂 伸	△ ◎ 会計	北村正春
△ ◎ 会長エレクト	宮澤由己	◎ 職業奉仕	高木昭好
△ ◎ 副会長・会員組織強化委員長	小口泰史	◎ 社会奉仕	梅垣和彦
△ ◎ 副会長・クラブ奉仕委員長	原 史郎	◎ 国際奉仕	平沢清文
△ ◎ 幹事	佐藤有司	◎ 新世代奉仕	太田博久
☆ 副幹事	井上保子		
☆ 副幹事	中嶋孝一		

△役員 ◎理事 ☆理事会オブザーバー



卓 話「日本に来て感じたこと」

米山奨学生 劉 曉紅さん

諏訪訪東京理科大学大学院の工学マネジメントを専攻している劉曉紅と申します。どうぞよろしくお願い致します。私の趣味は登山です。登山には体力と忍耐力が必要ですが、頑張った者だけが見ることを許される風景を目にすることができます。また、書道を6年間習っていたので、物事を落ち着いてじっくり考えることができますと思います。先日内定を頂き、社会人としての第一歩を踏み出すことができると、大変嬉しく思っております。留学の道を選んだ私は、「前に進むしかない」という覚悟で、数々の困難を乗り越えて来ました。常に挑戦する気持ちを忘れず、経験を積んで自分を高めていくことで、様々な知識や能力を身に付けることができました。異文化の中で勉強し続けてきた結果、判断力や対応力が高まり、未知の世界に対しても、「ベンチャー精神」に基づき自分自身を磨いて来ました。留学から学んだことを活かし、初心を忘れずに日本企業と社会に貢献し、日本と中国の架け橋になることに全力を注げられれば光栄だと思っております。こうしたことを踏まえ、入社式からではなく就職活動の時から、一人の社会人として物事を考え実際に行動しようと思ってきました。

私が就職活動を始めたのは2011年の12月でした。たくさんのナビにログインして、たくさんの企業にエントリーをし、たくさんの企業の説明会に参加しました。筆記試験では落ちたり受かったりを繰り返していましたが、失敗を繰り返すことで、もっとしっかり勉強しなければならないと自覚しました。その後、就職筆記試験の参考書で知識を得ると、だんだん筆記試験の結果は良くなりました。でも、採用されるには筆記試験だけではなく面接試験があります。筆記試験対策だけに没頭していた私は、当然のことながら面接にたどり着くことができませんでした。初めて受けた正式な面接は、これまで経験したことのない緊張感に襲われたことしか覚えていませんでした。私はまた失意のどん底にいました。自分を見失いそうになった時、「こんな失敗ぐらいで倒されたら終わりじゃないの？」という友達の言葉が頭に浮かんできました。「そうだ、このままじゃ終わりなのだ！」と我に返った私は、先生と先輩のところに行っているいろいろ助言をいただきました。家に帰ってから、面接対策について考え続けました。まず、緊張感を失くさなければなりません。心理学の本を読んで、「深呼吸3回」「鏡にスマイル」など、リラックスしたり自信を付ける方法をいくつか見つけました。また、言語の壁を乗り越えなければなりません。面接の時に、自分の思っていることを日本語ではっきり表現できない原因は何なのかを考え反省しました。結局準備が不十分だったので、もう一度性格を分析して、自分の長所は何か、短所は何か、どういうふうにアピールすれば聞き手に印象付けられるのかを認識し、先生にお願いして何回も練習した結果、流暢に言えるようになりました。そのあと受けた面接はうまく行ったと思いましたが、採用されませんでした。とてもショックでした。なぜだめだったのでしょいか、悩んで、悩んで、きっとどこかがまだ足りないのだと気づきました。就職活動し始めてから、何度も失敗して自信が無くなっていたので、ここで初心に帰って最初の自己分析からもう一度やりなおした上で、自分が企業に対して、どんな役に立てるのか、何に貢献で

きるのかを考えました。そして、「そのままの自分でいいんだ」と気付きました。つまり、綺麗ごとではなく全て素直に言葉にすればいいのだと気付いたのです。そして、すぐに自分の伝えたいことを文章にして先生に直していただき、暗記してすらすら口に出して言えるようになるまで練習しました。その後面接を受けた時、暗記の成果が出て流暢に対話でき、質問にも素直な気持ちで答えられました。面接官の笑顔を見て、今度は成功するかもしれないとひそかに思いましたが、まだ喜ぶのは早いかなとも思いました。結果は三日後でした。他の会社の説明会にエントリーしようとした時、会社からの連絡が来ました。「採用されました。おめでとうございます。」と聞いた時は、死ぬほど嬉しくて「ありがとうございます、ありがとうございます」と何回も何回も繰り返しながら、涙が出そうになりました。今までの努力がようやく報われたんです。まだまだ努力は足りないと思いますが、運よく採用された私は、冷静になって現実を受け止めた時、就職活動はここで終わりかもしれないけれど、社会人としての道はこれからだのだと認識しました。

どのような社会人になりたいかを深く考えなければなりません。そのためにも、今から入社する時までにはできるだけたくさんの本を読もうと決めました。ここで、これまでに印象に残った言葉や社会人像について私の考えをお話しさせていただきたいと思います。まず、「何でもできるようになる必要はない」ということです。この言葉を読んだ時、「こんな間違えではないか」と困惑してしまいました。でも、考えてみると、私は真面目過ぎる人間だとよく言われます。私の場合、できることが多ければ多いほど周りの社会への貢献度が高いと思いつみ、いつもできるできないに関わらず、全部やろうとしていました。結局うまく行かないことが多かったのです。人によって得意な分野が異なるので、世の中うまく成り立っているのだと納得しました。また、「ミスはある程度あっても、積極性で人を引っ張って行くような人も必ず必要なのです」。

私が中国で日本語を勉強していた時、その学校は山梨英和大学と交流校だったので、中国から日本へ留学し、大学院まで進学できたんだと思います。初めての異国生活は、私にとって不安ばかりでした。学校で授業の内容が殆ど分かりませんでした。全く新たな環境への慣れも時間も必要ですが、言語の問題は深刻でした。日本語の勉強をもっと頑張らないと、日本に来た意味がなくなりそうな気がして、両親にも合わせる顔がなくなると思いながら、毎日授業の内容を録音し始め、帰ったら聞き直すことにしました。分からない単語を調べて理解できないところをメモし、先生に教えていただきました。こういうふうにしてだんだん授業の内容が分かってきました。

また、生活面では、急に一人暮らしになり、お金を貯めるため自炊しなければなりません。料理を作ることは始めてで、ゼロから習い始め、なかなかうまくできなくて、おいしくないというよりまずかったですね。友達を家に誘いたいけれど、美味しい料理を出せなければかなり恥ずかしいです。自尊心の強い私は、こんなことは許せません。時間があれば料理の練習をしていましたが、何ヶ月もの間何回黒こげになったまじい料理を食べたことでしょう。でも、ついに自分の料理を「美味しい」と言ってもらえ、自分にも自信が出てきて、新しい料理を考えることができるよう

になりました。「美味しい」と評価された瞬間、いろいろわかった気がします。美味しい料理とは調味料や野菜や肉の単純な組み合わせではなく、何回も失敗を重ねたからこそ出る味なんです！成功したから嬉しいだけではなく、まずかった食べ物に感謝しなければなりません！私みたいな人間がたくさんいます。いつも一生懸命何かをやろうとして失敗してしまうのですが、そこには必ず原因があります。「失敗は成功の母である」という表現があります。昔ミスだらけの自分があったからこそ今ここに立っている私があるのです。人並みになろうと考えるより、自分の弱みをよく理解した上で、同じような失敗を繰り返すことがないように、失敗から多くを学び自分の成長につなげていくことによって、周囲の人たちの信頼を得ることです。自分の強みの部分を誰にも負けないと言えるくらい伸ばして行ける人になればよいと分かりました。まだまだ未熟な私ですが、自分の弱みを認識して同じミスをしなないように頑張れば、ますます強くなっていけると思います。

そして、これから学生生活から社会人生活への移行は必ず今以上に大きな変化があると思います。自分の経験は社会人の環境の中ではあまり関係がないかもしれませんが、似ているところもあると思います。新しい環境に積極的に適応していくしかなないのです。学生は個人として責任を問われますが、社会人は個人の責任だけではなく、所属する組織をはじめ、お客様や会社全体や社会にまでも責任が及ぶことさえあるのです。「ミスはある程度あっても、積極性で人を引っ張って行くような人が大切です」。大学院に入ってから、確かにその通りだと思えるようになりました。「学院」と「学部」の差を深く感じていました。「院」はゼミがなければ、どこで何をするか全部自分で決めるので、とても自由です。時間がうまく配分できない私は、何をすればいいか分からなかったため、先輩たちの毎日忙しそうな様子を見て、とても理解できませんでした。その後、自分の迷いを先輩に話し、「自由ですが、暇じゃない」と言われた時、「時間は自分の物だからこそ、自発的に行動しなければならぬのだ」と自覚しました。驚いた先輩の顔、今でも忘れません。自発的にできるからこそ成長できるというワケです。学生生活では、教授が言うことに対して受身で頑張れば単位が取れ、自発的な学習が必要だとしても、強い責任感を持って臨むことはあまりありませんでしたが、社会人としては与えられた役割や自分への期待に応えること、要するに責任が学生より重く、積極的に主体性を発揮しなければならないのです。そして、「社会人としての新しい生活習慣を身につけることが必要だ」と書かれていました。学生時代は何事にも甘えることが多かったもので、知らないうちに自分本位の生活習慣が身につけてしまっていますが、社会人としての新しい生活習慣を身につけなければならないと決心して、計画を立てました。まず、なによりも、「時間厳守が大切」です。待ち合わせに、相手が連絡なしで遅れた場合、何かあったのかと心配し落ち着かなくなります。相手から連絡があっても、時間が長くなると気分が悪くなっていらいらしてきます。連絡はむろん大事ですが、遅くなる可能性があることを全部なくして待ち合わせをすることが合理的だと思います。これはすべて相手の立場で考えなければならないのです。良い習慣と違い、悪い習慣を身につけると短時間には直せません。しかも、時間を守れない人間は周りの人に信頼されないと思います。また、「新聞を読み、本を読み、ニュースを読むことが大切」です。今までの知識や経験に頼ることなく、学習し続け

ることが必要です。現代社会では、情報などが急速に発展していて、優勝劣敗は生存の法則となり、自分自身を充たせなければ、社会に淘汰されてしまう可能性が高いと思われます。専門知識を深めることだけではなく、広く社会や経済の動向についての感心を持って学ぶ習慣を身につけることが重要だと思います。

入社後、具体的に何を任せていただけるかまだ分かりませんが、どんなことでも与えられた仕事を素直に受け入れようと思います。実際に担当してみれば、おもしろさに気づくかもしれませんし、忍耐強く取り組んでいくことによって、自分の成長や短所の克服にも役立つことと思います。社会人といっても、普通の人間でもあります。困難に直面しても諦めず、良い習慣を身につけ、責任感を持ちながら任された仕事をできるだけ迅速かつ正確にこなせる人間になりたいと思います。こんな私ですが、頑張りますのでどうかよろしくお願いします。

ニコニコボックス

諏訪 RC 小口武男・増沢洋太郎 例会におじゃまします。

牛山幸一・大橋正明・小口雅弘・尾関秀雄・小野 仁・北澤洋之介・北村正春・小林純一・小松正二・佐藤有司・白鳥修次・杉田隆夫・瀬戸雅三・高木昭好・竹村一幸・中嶋孝一・中畑隆一・中村文明・濱 毅・林 裕彦・林 靖高・平沢清文・宮坂 伸・宮坂宥洪・宮坂宥澄・宮澤由己・矢島 進・矢島 實・山岡正邦・山岸邦太郎・守屋麻里 諏訪ロータリークラブ会長 小口武男様、IM 実行委員長増沢洋太郎様、IM の PR によろこおいで下さいました。

井上保子・梅垣和彦・太田博久・小口成人・濱 俊弘・林広一郎・林 尚孝・原史郎・山崎典夫 米山奨学生劉さん、よろこおいで下さいました。卓話楽しみにしています。

出席報告

会員数 46 名、出席者 41 名、出席率 89.13%、前々回訂正 93.02%

2012-2013 年度 RI テーマ
奉仕を通じて
平和を

